

政策分析シート（平成19年度）

政策名	活気ある地域コミュニティの形成	政策No	10	部名	区民生活部	部長名	佐藤安夫	内線	2500	
関連部名	子育て支援部、総務企画部									
行政評価事業体系	分野	文化創造都市[]								
目的	心豊かで活力に満ちた地域社会の形成を図るため、地域の活動拠点の整備を進めるとともに、地域コミュニティによる様々な活動を支援する。									
指標	政策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明			
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (28年度)			
	ふれあい館整備率		10.5%	26.3%	26.3%	26.3%	100%	整備箇所数 / 計画数 (19館)		
	町会加入率		62.4%	60.8%	60.3%	-	62.0%			
青少年対策事業参加者数		55,689	53,659	-	-	-				
現状と課題 (指標分析)	<p>コミュニティ活性化の推進にあたっては、今後開設するふれあい館をより使いやすく、特色ある施設内容となるよう工夫するとともに、区民ニーズ等を適切に把握し、事業内容の一層の充実を図る必要がある。</p> <p>また、町会の加入率の低下や構成員の高齢化が進んでいるため、新区民の地域コミュニティへの参加率を高めるとともに、新区民とこれまでの区民が融合したコミュニティ活動のあり方を検討する必要がある。</p> <p>青少年健全育成運動への支援については、参加者も多く、環境美化活動や地域見守り活動等多面的な展開をみせており、有意義なものであるが、運動を担っている方々の高齢化・固定化といった課題がある。</p>									
今後の方向性	<p>[平成19年度]</p> <p>現在までの進捗状況を踏まえてふれあい館の整備計画の見直しを行うとともに、指定管理者との連絡会や利用者アンケートなどにより、ふれあい館の管理・運営の更なる向上を図る。</p> <p>新たに転入してきた区民に対しては、町会等と連携しながら、具体的な働きかけの方法を探っていく。</p> <p>青少年健全育成運動については、青少年対策の枠組みを超えて展開されている現状を踏まえ、全庁的な視点から支援するとともに、事務移管や事業の再編についても検討する。</p>									
	<p>[平成20年度以降]</p> <p>各地域において特色あるふれあい館づくりを推進し、利用者の要望に応える。</p> <p>町会等の自主性・自立性を高めるとともに、町会等への加入率を高め、効率的・効果的なコミュニティ活動を促進させる。</p> <p>青少年の健全育成については、地区委員会との係りが深いことから、地区活動の支援を、さらに充実していく必要がある。</p>									

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	前年度設定	今年度設定	
コミュニティ活性化の推進[10-01]	-	A	地域コミュニティの活性化のため、活動の拠点となるふれあい館の早期整備が求められている。また、行政推進のための一翼を担う町会等の自主性・自立支援については、必要不可欠である。
青少年健全育成運動への支援[10-02]	B	B	地域の住民が主体となって取り組んでいる本施策は、地域に定着しており、活気ある地域コミュニティ形成に必要不可欠である。防災、防犯、防火、環境美化等の面からも大きな役割を果たしており、引き続き支援していく。
人権・平和の普及啓発[10-03]	B	B	人権・平和・男女共同参画社会について広く区民に普及・啓発していく。